



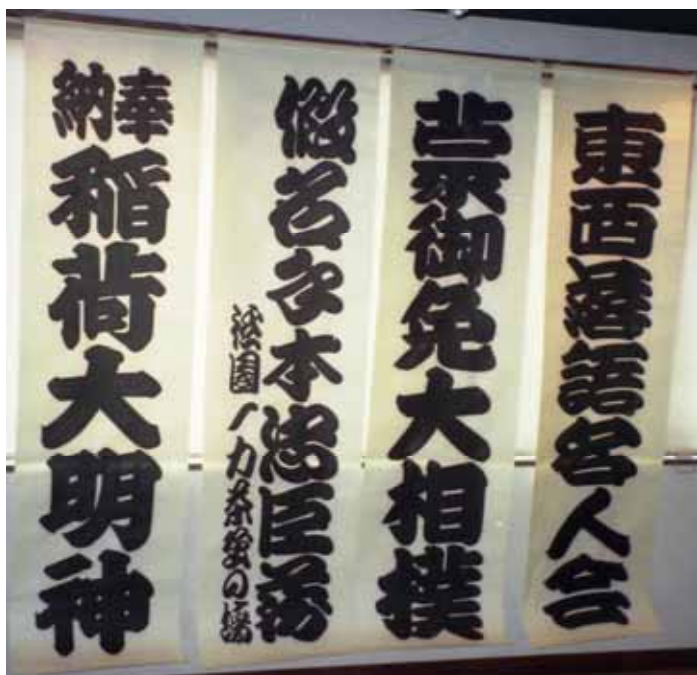
江戸文字の世界展

タイトル文字 橘右橋書

歌舞伎 勘亭流、落語 寄席文字、相撲字、千社札...、江戸文字にはいろいろあります。
そんな江戸文字のいろいろを一堂に集めた展示です。

比べてみるとよくわかる！

江戸から続く奥深い世界をご堪能ください！



入場無料

平成 23 年 4 月 2 日 (土) ~ 14 日 (木)

9 : 00 ~ 22 : 00 休館日 4 月 11 日 (月)

江東区豊洲文化センター 1 階 展示ロビー

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区豊洲文化センター
〒135-0061 江東区豊洲2-2-18 [TEL] 03-3536-5061
[HPアドレス] <http://www.kcf.or.jp/>



TOYOSU TEL. 3536-5061

プロフィール 寄席文字家元直門 橘右橘
勘亭流家元直門 荒井三鯉

1952年 台東区出身。
1971年 橘流寄席文字家元 橘右近に師事。
1975年 橘右橘の名を許され橘流一門に加わる。
1987年 勘亭流家元 二代目荒井三禮に師事。
1990年 中村三鯉として、勘亭流名取。
1994年 荒井姓を襲名。荒井三鯉となる。

今回の展示は、豊洲文化センター講座“江戸文字教室～勘亭流～”をきっかけに開催の運びとなりました。

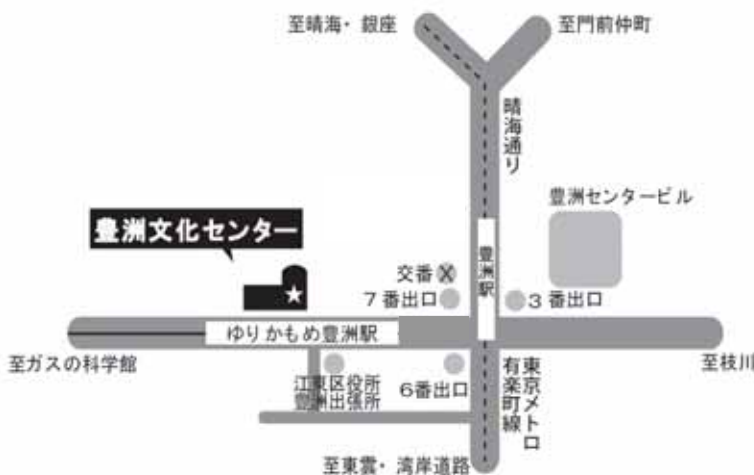
1995年、二代目荒井三禮先生を講師に迎え始まった講座ですが、1998年三禮先生死去により、1999年からは、現講師の荒井三鯉先生に引き継がれ、現在に至っています。

会場内に展示してある作品はすべて、荒井三鯉先生よりお借りしました。

江戸文字いろいろ

| 勘亭流 | 寄席文字 | 相撲字 | 江戸文字 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| 歌舞伎の看板や番付を彩る勘亭流。 江戸時代 安永八年(1779)に御家流書道指南 岡崎屋勘六が確立したとされている。 | 落語の看板やピラに使われる寄席文字。 江戸 天保(1836~7)の頃にその基となるピラ字が誕生したとされている。 | 相撲の番付に使われる相撲字。 江戸寛政年間(1789~)には、今の番付の形式が確立し、現在と似た文字が使われている。 | 千社札(せんしゃふだ)、提灯、染物に使われる。 神社仏閣への貼り札は、江戸時代に生まれ、明治・大正時代に発展、流行した。 |

交通案内 当センターは駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。



| | |
|------------------------|--------------------------|
| 新交通ゆりかもめ | 豊洲駅下車徒歩1分 |
| 東京メトロ 有楽町線 | 豊洲駅下車徒歩2分 |
| 都営バス利用 (いずれも豊洲駅下車徒歩2分) | |
| 錦 13 | 錦糸町駅～晴海埠頭 |
| 門 19 | 門前仲町～深川車庫・国際展示場駅 |
| 海 01 | 門前仲町～東京レポート駅 東京ビッグサイト |
| 業 10 | 業平橋駅～新橋 |
| 東 16 | 東京駅八重洲口～東京ビッグサイト |
| 東 15 | 東京駅八重洲口～深川車庫 |

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区豊洲文化センター
〒135-0061 江東区豊洲 2-2-18

[TEL] 03-3536-5061 [FAX] 03-5560-0505 [HP アドレス] <http://www.kcf.or.jp/>